

令和2年8月5日

福島ビエンナーレ 2020

# 風月の芸術祭 in 白河

Sirakawa Art through FUGETSU ( SiAtF ・シャトー )

## 祈

### 実施企画書

**日程** 令和2年9月25日(金)～11月3日(火)

新型コロナウイルスの感染状況によって変更することもあります。

**場所** 白河市

**企画** 風月の芸術祭実行委員会

**共催** 白河市

**問合せ先** 芸術監督: 渡邊晃一 (福島大学 芸術による地域創造研究所 所長)

福島大学 芸術による地域創造研究所

〒960-1296 福島県福島市金谷川1

TEL / FAX: 024-548-8226 MAIL : [sirakawa2020art@gmail.com](mailto:sirakawa2020art@gmail.com)

080-5574-3448 [koichiw09@hotmail.com](mailto:koichiw09@hotmail.com)

福島ビエンナーレ 2020  
「風月の芸術祭 in 白河」  
Sirakawa Art through FUGETSU ( SiAtF ・シャトー )

## 祈

本企画は、白河市の歴史、文化を基盤に新たに展開する現代アートの芸術祭です。

「風月」というタイトルは江戸時代の白河藩主、松平定信公の雅号に由来します。自然を愛で、文化を享受する心を伝えた松平定信の「士民共楽」の精神を受け継ぎ、白河市に関連する城下町の歴史・文化を学びながら、新たに国際的なアーティストと地域住民との協働によって展開します。白河市のパブリック・リレーションズ( *Public Relations*; PR )とともに、地域の時代を担う子どもたちにアートと継続的に関わる未来を提供します。

なお、新型コロナウイルス感染症の社会情勢を受け、白河市と福島大学の企画メンバー間では、これまで感染症の対策案も含め、ポスト・コロナ後の芸術祭のあり方について、悩みながらも多くの意見を出し合ってきました。今年度の芸術祭は、インターネットを介して世界中の人々が身心の健康と活力を得られるような「祈」をキーワードに、白河の歴史、文化に根付いてきた「狛犬・神獣」や「白河ダルマ」、神社仏閣や教会などの歴史的な史料と重ねて展開することとなりました。また、公共の場での3蜜(密閉空間、密集場所、密接場面)を避けて、地域の人々も享受できる企画を練っています。

なお、今後の情勢を考慮し、企画が変更することもあり得ますので、公式HPの情報をご確認いただけますようお願いいたします。

## 1、「風月」というタイトル

江戸時代の陸奥国白河藩主、松平定信公の雅号「風月」に由来します。

「風月」は訳すると、清風と明月。秋の自然、風物に親しむことや、風流に親しんで詩歌を創作すること（才能）。英訳すると「beauties of nature」。風月を友とする「converse with nature」等の意味があります。「風月」は、自然を愛で、文化を享受する心が伝えるものといえます。

松平定信は、日本の伝統的な文化史の編纂や教育、藝術活動に多大なる影響を与えた人物として知られています。蘭書の翻訳事業を行い、教育政策として幕府直轄の「昌平坂学問所」を創設しました。幕府天文方の流れを汲む開成所と医学所を併せた本所は、東京大学や東京師範学校（筑波大学や御茶ノ水女子大学）の源流ともなりました。定信は自らも書画を嗜み、谷文晁らと編纂した『集古十種』は、古画古物の模写約 2000 点が記録されています。定信に認められ、エッチングによる洋式銅版画を修得した亜欧堂田善は、葛飾北斎や歌川国芳らの「浮世絵」の洋風表現に影響を与え、「解体新書」の画家として知られています。白河藩主時代に定信は、「士民共楽」の理念のもと庭園（1801 年）を造成し、庶民に開放しました。日本初の公園とされる南湖公園は、茶室「松風亭蘿月庵」や定信を敬慕した渋沢栄一が尽力した南湖神社も設立され、国の史跡および名勝に指定されています。

## 2、「福島ビエンナーレ」とは

2004 年から福島大学 芸術による地域創造研究所が中心となり、福島県内の地域住民の方々と協働で「ビエンナーレ（隔年）」開催されてきた現代アートの芸術企画です。これまで県北（福島県文化センター、福島市、二本松市）、県中（福島空港、須賀川市）、会津（湯川村、喜多方市）、相双地区（南相馬市）で開催されてきました。今年度（2020 年）はこれまでの「福島ビエンナーレ」を継承しつつ、あらたに白河市の地域住民が運営に参画し、産官民学の協働によって展開します。

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大を危惧する影響から、これまでのテーマ、作品の展示方法も一新して開催します。インターネットを介して世界中の人々が幅広く「芸術」に触れ合えると同時に、白河市ひいては福島県の歴史と伝統を通して、未来を担う子どもたちと地域創造を一層活性化させていく一役を担い、芳醇な地域文化を实らせていきます。

### 3、「祈り」をテーマとした白河の歴史と文化

白河市には、自然と歴史、文化、芸術との関わりを伝える重要な資源が多数あります。

東に阿武隈、西に那須連峰の雄大な景色を一望できる地に位置する白河は、東北地方および北海道をまとめて「白河以北」と称した歴史がありました。「陸奥（みちのく）」の玄関として扱われます。

東北の縄文時代からの歴史遺産が多数残されており、福島県文化財センター白河館（まほろん）には、福島県内の遺跡から見つかった文化財が多数収蔵・展示されています。

白河の関は平城京の頃から都から陸奥国（東北）に通じる関門として史上名高い場所でした。奥州合戦の際、白河に達した時、源頼朝の命で詠まれた「秋風に草木の露をば払わせて、君が越ゆれば関守も無し」と重ね、松尾芭蕉は「白河の関にかかりて旅ごころ定まりぬ」と、みちのく路の第一歩を踏み出し、陸奥（みちのく）を越える旅に思いを馳せました。陸奥国白河は江戸時代、奥州街道の要地であり、戊辰戦争において白河小峰城の奪還は、奥羽越列藩同盟軍（会津・仙台・庄内藩を中心とした東軍）と新政府軍（薩摩・長州藩を中心とした西軍）の戦局を大きく左右しました。「白河口の戦い」（1868年）における両軍の犠牲者の墓や慰霊碑を、今も地元の住民は弔い続けています。

本企画のタイトルとなった「風月」を雅号とする松平定信が城下の繁栄を願い、職人に技術を習得させ、お抱え絵師の谷文晁が図柄を考案したとされる白河だるまは縁起物として引き継がれています。

司馬遼太郎の『街道を行く』のなかに野バラの教会として紹介されている白河ハリストス正教会には、48点のイコンがあり、その中には、ロシアからもたらされた作品や、日本最初のイコン画家であり、女流画家の山下りんの作品が残されています。また大正期、白河に生まれた画家、関根正二など、多数の芸術文化の歴史を有しています。関根正二の代表作に《神の祈り》（1918年頃 福島県立美術館蔵）、《信仰の悲しみ》（1918 重要文化財 大原美術館蔵）があります。

白河はまた近年、「狛犬の聖地」として注目を集めています。江戸末期から、明治、昭和初期にかけて東北のミケランジェロと評される小松利平、寅吉らの系譜によって制作された独創的な「飛翔狛犬」などの作品が多数残されています。

白河市には地域の気候・風土や城下町の歴史を活かした様々な伝統工芸・文化があり、今なお脈々と受け継がれています。東日本大震災や新型コロナウイルスの影響で、東北の地は一層「祈り」を通して地域文化を守っていくことが必要とされています。縄文の文化財、谷文晁と白河だるま、山下りんのイコン、関根正二の作品につらなる白河のテーマは、まさしく「祈り」ともいえるでしょう。松平定信の活躍していた江戸時代から継承される城下町文化が引き継がれています。本企画は、国際的なアーティストの活動と白河の伝統的な地域文化を結びつけ、世界に向けて「祈り」を発信していきます。

## 4, 主な実施概要

展示：時期、会場、作品の種類・内容・点数、主な出品者名

**タイトル** 福島ピエンナーレ 2020  
「風月の芸術祭 in 白河」  
白河アートフェス Sirakawa Art FUGETSU ( SiAtF ・シャトー )

**テーマ** 祈(いのり)

**日程** 令和2年9月25日(金)～11月3日(火)

**中秋の名月 2020年10月1日**

福島県立美術館の移動展： 9月12日～11月8日

作品展示：10月10日(土)～10月25日(日)

展示の種類：平面、立体、インスタレーション、ビデオアート、映像メディア(映画)

【参加アーティスト】(案)

ヤノベケンジ × ダルライザー

荒井経 / 岩根愛 / 伊藤有壱 / 今井トウーンズ / 岡村桂三郎 / 金子富之 / 木下史青 / 小松美羽 / 鈴木美樹 / 福井利佐 / 三沢厚彦 / 渡邊晃一・福島大学

Md, タリカット / プレント・ウィルソン / ヘイデン・センター / ジェローム・パウエル / カザリス・アラン / プリジット・カーナルグエン / ミュリエル・リガール / フィリップ・ブロッケンほか

関根正二 / 谷文晁 / 山下リン

展示作品の種類:

- ・ インターネットで展開されるアーティスト作品(写真映像、VR等)
- ・ 3蜜を避けた公共空間での展示(立体等)
- ・ 白河の文化と現代アート「ダルマ・アート」「狛犬・神獣・巡祈」

ヤノベケンジ × 和知健明(ダルライザー)・京都芸術大学

内容：「福島守神」をテーマにしたVR作品

インターネットによる映像作品 アーティスト未定

小松美羽

開催日：10月4日(日)

内容：「狛犬」をテーマとした立体作品

### アートだるま展示

開催日：9月25日（金）～11月3日（火） 会場：城下町・商店街

内容：各アーティスト独自のダルマ作成展示

荒井経、伊藤有壱、今井トゥーンズ、岡村桂三郎、木下史青、金子富之、  
小松美羽、鈴木美樹、福井利佐、三沢厚彦、ヤノベケンジ、渡邊晃一

### 福井利佐

開催日：10月4日（土）～11月3日（火） 会場：脇本陣蔵座敷・商店街

内容：アーティスト作品

「白河だるま」をテーマにした高校生の切絵のワークショップ作品  
切絵からのフラッグ制作、Tシャツのシルクスクリーンへの展開  
白河高校、白河旭高校

### 岩根愛

開催日：9月25日（金）～11月3日（火）のうち休日 会場：エマノン

内容：白河の風景（南湖公園）

### 金子富之

開催日：9月25日（金）～11月3日（火） 会場：常宣寺

内容：「神獣」をテーマとした作品

### 白河ハリストス正教会

開催日：10月4日（日）～11月3日（火）のうち4日程度 会場：白河ハリストス正教会

内容：山下りんのイコン開示（県指定重要文化財）

## 6、 実施体制

### 主催

風月の芸術祭実行委員会

### 共催

白河市

国立大学法人 福島大学 芸術による地域創造研究所

### 助成

令和2年度福島県地域創生総合事業